

継往開来

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

今年度本校には、教員を目指す教育実習生が6名いらっしゃいましたので、インタビューを行いました！

～北里大学 獣医学部 生物環境科学科 4年 阿部瑞紀先生～ 好きな言葉:みかん(未完)

『君たちはみかん(未完)だ！』

試合に負け宿舎についたときに担当の先生がオレンジ色のみかんを取り出して言ったのがこの言葉でした。“みかん”といっても果物のみかんではなく、“未だ完成しない”という意味でまだまだ形の定まらない“未完成”な私たちを指して言った先生なりの冗談でした。私はこの言葉はまだまだ完成しない、まだまだ成長ができることを意味しているとても素敵な言葉だと思っています。

私も生徒のみなさんもまだまだ“みかん(未完)”なので、たくさんの経験を積んでより良い自分の形を見つけていきましょう！

今回の実習で特に頑張りたいことは、私は普通科を卒業しているので特に今回の実習では農業高校の動きや生徒の活動など身を以て理解していきたいです。授業などつたないところも多く、迷惑をかけることがあると思いますができる限り生徒のみなさんと関わっていこうと考えていま

～酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 4年 及川衣理先生～ 大切にしている言葉:「継続は力なり」

例えば高校時代を振り返ると部活動でソフトテニスを最後まで続けたことです。部活を始めた当初は同学年で12人いました。しかし、一緒に引退できた仲間は5人。周りがどんどん減っていく中で、私も部活動の練習が厳しくて辞めたいと思うことは多々ありました。けれど、一度決めたことは最後まで貫き通そうと引退まで続けることができました。

継続して力になったと感じることは何か辛いことがあっても、あの時の部活動を頑張れたのだから大丈夫！という自信になっています。また、高校を卒業しても定期的に会うかけがえのない友人もできました。宮農生のみなさんも何か簡単なことでもいいので、目標とそれをクリアするまで継続してみてください。成し遂げたとき自分の自信となり、自らを成長させるきっかけになるはずです。

今回の実習で特に頑張りたいことは、生徒との関わりを大切に先生方のお話をよく聞くことです。2週間という短い期間なので、学校という現場をよく知るためには受け身ではなく自ら行動をするよう心掛けます。

～東京農業大学 生物産業学部 アクアバイオ学科 4年 吉田 智仁先生～ 好きな言葉:「破顔一笑」

この言葉は高校時代とあるゲームで知りました。顔をほころばせてにっこりと笑う事、「破顔一笑」。

私は高校を卒業したころから、常に笑える一瞬を大切にしています。苦しいときでも心から笑える瞬間があると今までが嘘のように楽しくなります。皆さんもそんな経験ありませんか？

今回の実習で特に頑張りたいことは「皆さんの高校生活は一生に一度きりの大切なモノ」そう語る大人が多々いると思います。私もその一人です。そんな生徒の皆さんの高校生活の少しの間ですが、「先生」と呼ばれる存在になりました。先生は生徒に授業を教えないといけません。そして授業で教える事ひとつひとつも生徒の一度きりで大切なモノになるでしょう。え？授業なんて大切なモノになるわけない？でも私はそんな授業になるよう、皆さんから頂いた授業の時間を全力で頑張りたいと思います。

～宇都宮大学 農学部 農業環境工学科 食料生産システム工学コース 4年 中鉢 知恵先生～ 好きな言葉:「迷ったら勇気のいる方へ」

迷ったとき、皆さんどうしていますか？これまで私は迷ったときは辛くない方、面倒くさくない方、楽な方へと選択していました。でもこの選択は、自分のためにはなりません。時間の無駄でした。私は友人にこの言葉を聞いてからは、勇気のいる方へチャレンジするようにしています。今回の実習を通して、たくさんの生徒の名前と顔を覚えられるように頑張ります。生徒の皆さんからすると、見たことない先生に挨拶するのって勇気いりますよね。でも、どうしようかな、挨拶した方がいいかなと思ったら、ぜひ挨拶してください！迷ったときは、勇気のいる方へ！人生は1度きりです！後悔ない高校生活を送ってください！

継往開来

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

～酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 4年 古木陽子先生～ 好きな言葉:「ありがとう」

私がある言葉の大切さに気付いたのは、大学生になり一人暮らしを始めた時です。高校時代、当たり前のように朝ご飯を作ってくれた母。牛舎に通う私のために毎日5時に起床し、必ずお弁当を持たせてくれました。しかし大学生になり一人暮らしを始めれば、朝起きて目の前にホカホカのごはんはありません。登校しても鞆の中にバンダナでくるんだ2段弁当は入っていません。高校生の時、私は母に朝早く起きごはんを作ってくれてありがとう！と言ったことはなんてあったでしょうか。お恥ずかしながらこの場を借りて『ありがとう』。並ぶ2つのお猪口。母の日は4年ぶりにプレゼントを渡しました。父の日も兼ねて。

話は少し変わりますが、教育実習の先生という形で母校へ戻ってくることが出来ました。私にとって先生方が3年前は先生で、今日この日は大先輩です。2週間多くのご迷惑をお掛けしますが今後もどうかよろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

～酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 4年 川原井 圭先生～ 好きな言葉:「我武者羅」

言葉の意味は、「一つの目的に向かって、後先を考えず夢中に行動すること」です。良い意味でも悪い意味でも使われる言葉ですが、私は何度もこの言葉に勇気を貰いました。人は生きてく上で、何度も苦難や困難に立ち向かわなくてはならない場面があると思います。そんな時、「自分には出来ない」と自分で限界を作り、マイナスな事を考える前に、とりあえず我武者羅に頑張ってみると、自分の限界を越え、困難を乗り越えられるかもしれません。よく考え、冷静に行動することはとても大切なことですが、いざという時は「我武者羅」に行動してみることも良いのではないかと思います。

教育実習では、農業の知識だけでなく、面白さや楽しさも伝えられるような授業や実習を出来るよう頑張りたいと思っています。

我が校を卒業し、新入社員研修で感じたことをお話いただきました！先輩の話を自の将来に生かしましょう！

～株式会社ウジエスーパー 藤野 悠平(平成 27 年3月 園芸科卒)～ 新入社員研修を終えて

私は、宮城県農業高等学校を卒業し、株式会社ウジエスーパーに就職しました。ウジエスーパーでは新入社員には1ヶ月の研修期間があり、研修後半には商品を自分で仕入れ、値段を決め、店舗で自ら販売するという内容の研修があります。

そこで私は、高校の時にお世話になった施設野菜Ⅱの先生に、宮農で育てたイチゴを販売させてくれないか相談し、承諾をもらいました。販売で接客するのは初めてではなく、高校生の時の販売実習で、地域の方々に宮農の農産物を販売したことがあり、そこで接客を何度か経験していたので、自分ではしっかりと対応が出来ると思っていました。しかし、高校の販売実習とは違い、実際に店舗でやってみると、とても難しく、お客様が商品のことを詳しく聞いてきて、販売する方も商品知識が少ないとお客様に納得して買ってもらえないということを実感しました。

今回、私が仕入れ販売したイチゴは数時間で完売することができましたが、仕入れから販売まで無事に出来たのは、商品が高校生の時に実習で学習・栽培したものであり、商品知識をなんとかお客様に伝えることが出来たからだと思います。宮農で学んだことや経験があったからできたのだと感じました。

まだ社会人としてスタートして数か月で、初めてのことがばっかりです。分からないことが多いのですが、学んだことや教えてもらったことは高校での実習の記録のようにノートにまとめ復習しています。今回の研修で、人とのコミュニケーションや繋がりがとても大切だと感じました。

～近況報告～

台風や強い日差しと、厳しい季節が徐々にやってきましたが、農業高校生として、雨が降ることの嬉しさや日差しのありがたみを感じて学校生活を送りましょう！

- ・ 5月21日 全校田植え※小雨決行(予備日5月22日)
- ・ 5月27日 校内意見発表会
- ・ 6月25日 農業クラブ測量競技会